

小学校家庭科 第5学年「環境に配慮した整理・整頓」

1 題材の目標等

(1) 目標

- 住まいの整理・整頓の仕方、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 整理・整頓の仕方や環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方、環境に配慮した物の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

(2) 題材について

本題材は、内容「B 衣食住の生活」(6)「快適な住まい方」ア(イ)、イと内容「C 消費生活・環境」(2)「環境に配慮した生活」ア、イの指導事項の関連を図っている。自分の身の回りの物を見つめ直す活動から問題を見付け、道具箱の整理を通して、整理・整頓の仕方の工夫について理解し、自分の生活と環境との関わりからごみの分別や減量の仕方を工夫することで、環境に配慮した物の使い方などを考える。

このことから、自分の身の回りの物の使い方を見直し、自分や家族の生活を快適で安全に整えられるようにするとともに、資源や環境の問題を自分の生活と関連付けて考えられる児童の育成を目指す。

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①住まいの整理・整頓の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ②自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	①整理・整頓の仕方や環境に配慮した物の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方、環境に配慮した物の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

3 環境教育で育成する主な資質・能力（ESDの視点）

【イ 環境に興味・関心をもち、自ら関わろうとする態度（つながりを尊重する態度）】

自分の身の回りの物を見つめ直す活動を通して、資源や環境の問題が自分の生活と深く関わっていることに気付き、自分ができることを実践しようとする態度を育てる。

4 環境教育で対象とする主な内容（ESDの構成概念）

【H 生活様式の見直し（責任性）】

環境に配慮した物の使い方や整理・整頓を実行するための「エコライフ〇か条」を作成することを通して、環境負荷の少ない生活を目指すことを視点にした内容を扱う。

5 主なSDGsとの関連



自分の身の回りの物を見つめ直す活動から、(目標 12) ごみの分別や減量の仕方を工夫することで、廃棄物の発生を削減しようとする視点や、(目標 14) レジ袋やペットボトル等の使い捨てプラスチック製品と海洋ごみ問題とのつながりについて気付く視点、(目標 15) 環境配慮型製品について知り、これらの製品を購入することで、環境負荷が低減され、生態系の保全や再生へとつながる視点に気付かせていく。

6 学習指導計画 (4 時間)

時	○主な学習活動	□主な支援 ◆主な評価 〈環境教育で育成する主な資質・能力〉
1	<p>自分の生活を見つめ、学習課題を設定しよう。</p> <p>○整理・整頓ができていない机の上とできていない机の上の写真から、気付いたことや整理・整頓が必要な理由について話し合う。</p> <p>○整理・整頓ができていない机の上をどのように片付ければよいのかを話し合い、環境に配慮した整理・整頓の仕方の視点をまとめる。</p> <p>○ 学習課題を設定する。</p> <p>どうすれば環境に配慮した整理・整頓ができるだろうか。</p>	<p>□飲みかけのペットボトル、読み終わった雑誌、着なくなったシャツ、工作に使用した長い定規、家族が使う爪切りなどが散乱している机の上の写真を提示し、整理・整頓が必要な理由について考えさせる。</p> <p>□自分の道具箱の様子を確認させながら、どのような片付けが必要なのかを考えさせる。</p> <p>□社会科の既習事項を想起させ、ごみの分別や雑誌・シャツの再利用などにより、環境に配慮した整理・整頓の仕方が必要であることに気付かせる。</p> <p>◆整理・整頓の仕方について問題を見だし課題を設定している。 【思①】</p> <p>□家庭でどのように整理・整頓を行っているか調べてくるように指示する。</p>
2	<p>自分の道具箱を整理・整頓しよう。</p> <p>○前時で学習した机の上の片付け方と、調べてきた家庭で行っている整理・整頓の仕方を関連付けて、整理・整頓の視点を確認する。</p> <p>○自分の道具箱を見つめて課題を設定し、解決するために、どのように整理・整頓するかを簡単に計画書にまとめる。</p> <p>○計画書に基づいて道具箱の整理・整頓を実践する。</p> <p>○実践した整理・整頓の仕方について自己評価し、分かったことや家庭で実践したいと思ったことなどをまとめる。</p>	<p>□前時で学習した机の上の片付け方と、家庭で行っている整理・整頓の仕方との共通点や差異点を発表させ、「自分の道具箱を整理・整頓するために、どうすればよいか。」と発問し、本時の見通しをもたせる。</p> <p>□自分で考えた整理・整頓の計画書を班で発表し、課題解決の方向性を確認させながら互いにアドバイスをさせ、よりよい方法を考えさせる。</p> <p>◆整理・整頓の計画について考え、工夫している。 【思①】</p> <p>□計画書を踏まえながら、整理・整頓を実践させ、気付いた点はメモするように指示し、整理・整頓後の写真を撮影する。</p> <p>◆整理・整頓の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 【知①】</p>

<p>3 (本時)</p>	<p>環境への影響から物の使い方を考えよう。</p> <p>○道具箱の整理・整頓を振り返り、環境に配慮した整理・整頓の仕方ができていたか確認する。</p> <p>○プラスチック製品が及ぼす環境への影響についての写真を見て、自分の生活が環境に大きく影響していることについて考える。</p> <p>○次の視点から「環境にできるだけ負荷を掛けない物の使い方」を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入するとき。 ・使用するとき。 ・使い終わったとき。 (使わなくなったとき。) <p>○自分や家族の物の使い方を「環境にできるだけ負荷を掛けない物の使い方」を基に振り返り、より環境に負荷を掛けないようにするためにはどのような解決方法があるか考える。</p>	<p>□「整理・整頓後、不要な物はないか。不要な物はどうすればよいのか。」と発問し、本時の学習の見通しをもたせる。</p> <p>□SDGsとの関連に気付かせる。</p> <p>□消費者生活センターの方から、環境への負荷を最小限にした例や3Rの資料を提示してもらい、物の使い方が環境に影響していることに気付かせる。</p> <p>□自分の考えをまとめた後、班で意見を交流させ、無駄なく使い切ったり、使い終わった物を他の用途に再利用したりする必要があることを確認する。</p> <p>◆自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。【知②】</p> <p>◆環境に配慮した物の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。【態①】</p> <p>〈イ 環境に興味・関心をもち、自ら関わろうとする態度〉</p> <p>□考えた解決方法を家庭で実践したり、家族の人から取材したりしてくるように指示する。</p>
<p>4</p>	<p>環境に配慮したよりよい整理・整頓について「エコライフ〇か条」にまとめよう。</p> <p>○環境に配慮した物の使い方について、家庭で実践したり、取材したりしてきたことを発表する。</p> <p>○よりよい生活のために、環境に配慮した物の使い方や整理・整頓について、自分や家族が取り組む必要があると思うことを「エコライフ〇か条」にまとめる。</p> <p>○環境に配慮した整理・整頓の仕方について、分かったことや今後の生活に生かしたいことをまとめる。</p>	<p>□よりよい生活をしていくため、これまで学習してきたことをどのように生かしていけばよいのかまとめていくことを伝え、本時の見通しをもたせる。</p> <p>□日常生活の中で、自分が家族と協力して行っていく必要があることをまとめさせる。さらに、相互評価をさせながら、実践意欲が高まるようにする。</p> <p>◆よりよい生活のため、環境を考えた物の使い方や整理・整頓の仕方についての課題解決に向けた一連の活動で考えたことを分かりやすく表現している。【思①】</p> <p>◆整理・整頓の仕方や環境に配慮した物の使い方について、生活を工夫し実践しようとしている。【態①】</p> <p>〈イ 環境に興味・関心をもち、自ら関わろうとする態度〉</p>

7 本時の展開例（3/4時間）

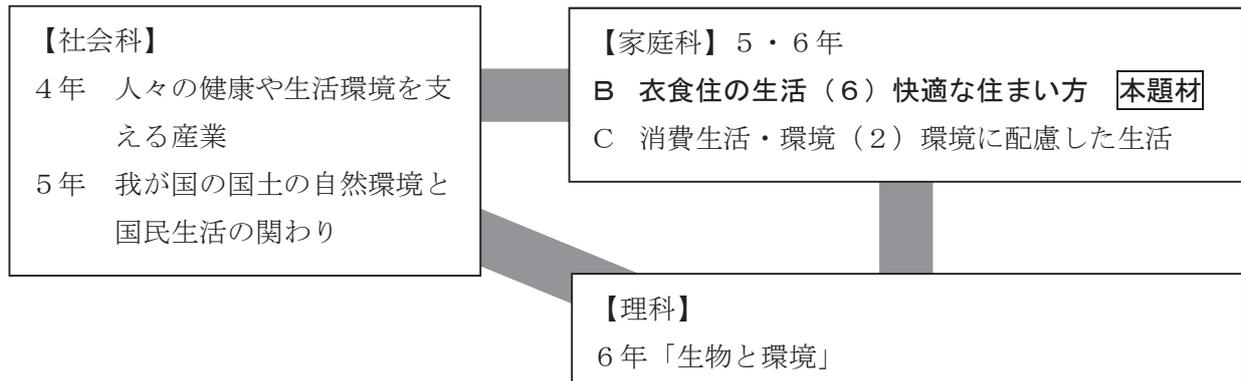
（1）本時の目標

環境に配慮した物の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組み、自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などを理解できる。

（2）本時の展開

○主な学習活動	□主な支援 ◆主な評価 〈環境教育で育成する主な資質・能力〉
<p>環境への影響から物の使い方を考えよう。</p> <p>○道具箱の整理・整頓を振り返り、環境に配慮した整理・整頓の仕方ができていたか確認し、本時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>□「整理・整頓後、不要な物はないか。不要な物はどうすればよいのか。」と発問し、本時の学習の見通しをもたせる。</p> <p>□社会科で学習した「ごみの行方」や3R等を想起させ、環境に配慮した生活について考えさせる。</p>
<p>○自分の生活が環境に大きく影響していることについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみが環境破壊につながっている。 ・プラスチックごみが動物にも害を与えている。 ・自分の出したごみが、環境破壊につながっているかもしれない。 <p>○次の視点から「環境にできるだけ負荷を掛けない物の使い方」を考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入するとき。 ・使用するとき。 ・使い終わったとき。 (使わなくなったとき。) <p>○自分や家族の物の使い方を「環境にできるだけ負荷を掛けない物の使い方」を基に振り返り、より環境に負荷を掛けないようにするためにはどのような解決方法があるか考える。</p>	<p>□プラスチック製品が及ぼす環境への影響についての写真を提示し、自分の生活が環境に大きく影響していることやそれが地球規模の課題につながっていることを説明し、SDGsとの関連に気付かせる。</p> <p>□調理実習で材料を購入したり調理をしたりするときに、環境のことについて考え、気を付けたことを例にして考えるよう指示する。</p> <p>□自分の考えをまとめた後、班で意見を交流させ、無駄なく使い切ったり、使い終わった物を他の用途に再利用したりする必要があることを確認する。</p> <p>□消費者生活センターの方から、環境への負荷を最小限にした例を提示してもらい、物の使い方が環境に影響していることに気付かせる。</p> <p>◆自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。 【知②】</p> <p>◆環境に配慮した物の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 【態①】 (イ 環境に興味・関心をもち、自ら関わろうとする態度)</p> <p>□考えた解決方法を家庭で実践したり、家庭ではどのように課題を解決しているか調べたり、家族の人から取材したりしてくるよう指示する。</p>

8 学習のつながり



9 外部人材、地域資源等の活用

- 地域のスーパーマーケットやコンビニエンスストアの商品を調べるために地域の商店の協力を依頼する。
- 家庭内でのプラスチック調べなど、家庭学習として家庭の協力を依頼し学びを深める。

10 ホームページ等の資料

- 環境省 環境表示ガイドライン
<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/guideline/guideline.pdf>
- 一般社団法人産業環境管理協会 小学生のための環境リサイクル学習ホームページ
<http://www.cjc.or.jp/j-school/>
- 東京都環境局 3Rキッズページ
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/kids/resource/3r/index.html>